

【保育園関係】

① 保育園の保育時間・希望保育・入園について

Q：土曜保育での早朝・延長保育を実施してほしい。年末年始の希望保育の日数を増やしてほしい。（複数意見要望あり）

共働きで預け先がなくて困っている。・土曜日のみ通常時間保育になってしまうのはなぜか？・土曜日のみ勤務時間が短くなることはないので早朝・延長がなくて困っている。）

A：様々な勤務形態があり土日祝日もお仕事があることは承知しております。職員体制の課題も多く、対応は難しい状況ですが、今後の保育園の運営の課題とさせていただきます。

Q：希望保育時の弁当を事前にアンケートをとり注文制にするのはどうか？

朝、弁当作りに追われて大変な為。

A：保護者の希望に沿った注文の取りまとめや急な利用申し込みがあった場合などの対応が難しいと感じています。

Q：入所年齢をやまのご保育園と同じ満2ヶ月からにしてほしい。

保育園しか預け先がなく、自宅からの距離や仕事等の都合もあり山形保育園に入園したかったが月齢が満たず入所できず困った。・同じ村内の保育園で差があるのは困る。

A：山形村における保育提供体制は、山形保育園とやまのご保育園でそれぞれの保育園の特徴を活かし補完しながら保育を提供しています。その中で、やまのご保育園では2ヶ月からの受入を行っていますので、送迎等のご事情はあるかと思いますが、6ヶ月未満の園児の保育園利用については、やまのご保育園を利用させていただくようお願いします。

② 保育園内外の環境について

Q：使用済みのオムツの処理を保育園ですてもらいたい。（複数意見要望あり）

不衛生・保育園に1日置くことで帰りには匂いも気になる。・特に妊娠中は匂いにも敏感で兄弟が多いと週末の荷物が多くて大変である。

A： 試験的におむつの処理方法の見直しを行いました。近隣市村でも園で処理するところも増えてきていますので、処理する際の費用や課題等を検証しながら対応して参ります。

Q：駐車場のゼブラゾーンにコーンやブロック、車止め等を設置してほしい。（複数意見要望あり）

通過する車が多く、とても危険。保育園でもメール等で何度も連絡が来るが、減っていない。実際にゼブラゾーンへの侵入や危険運転を目撃していたら下4桁（自動車のナンバー）のみ記載し配信する等、今以

上にしっかりと対策、改善をしないと、死亡事故が起きてもおかしくない状況。

A : 保護者の皆様には再三お願いしております。保護者会からも是非保護者の皆様に周知徹底をお願いします。なお、試験的にカラーコーンを設置しましたので、安全面等でご意見があればお寄せください。

Q : トイレの水道への手洗い石鹸の設置の徹底をしてほしい。 (複数意見要望あり)

感染症予防のためにも石鹸を使用してほしい。・生活習慣を身につける意味でも設置してほしい。・設置できない理由があれば教えてほしい。

A : 感染予防対策に有効なものを確認して必要な場所に設置しています。

③ 園内の感染対策について

Q : マスクの着用を徹底してほしい。 (複数意見要望あり)

状況や年齢に応じて着脱したり義務ではないが、あまりにもマスクの着用をしていない子どもの姿が多くせめて室内ではしっかりとしてほしい。・みんな好きで着用しているわけではないので送迎時など未着用の保護者を見ると不快。心配になる先生方も見て見ぬふりをせず、直接忠告してほしい。

A : 本園でも新型コロナウイルス感染症の陽性者が複数発生し、その都度、クラス閉鎖・登園自粛等ご協力をいただきありがとうございます。

保育所におけるマスクの着用については、安全性や成長の影響の観点から「2歳未満児にはマスクの着用を推奨しない。」「2歳児以上についてもマスクの着用を一律に求めない」ことが長野県下一律の一般的な対応となっていますが、現状の感染状況等を注視しながら必要に応じてマスクの着用も一時的に行っています。

また、屋外でのマスクの着用は原則不要となっていると認識しています。

④ コドモンについて

Q : コドモンの導入理由と今後の活用が知りたい。 (複数意見要望あり)

今後成長の記録等に使われていくのか？配布物が配信になれば、ペーパーレスにもなって便利なのではないか。・連絡ノートを廃止し、体温や連絡事項などコドモンに移行してはどうか？・触れないよう読み込み端末を壁に固定してはどうか？コドモン導入の経緯についての説明が不十分であったように感じる。・スマホやインターネットへの依存が強まるのではないかと感じる。・不本意であったがアプリを使わざるをえない半ば強制的とも思える決定に抵抗を感じる。

A : 導入に当たり保護者のみなさまへの十分な説明が行き届かず申し訳ありませんでした。コドモンシステムには様々な機能があり、本年度は職員、保護者のみなさまに慣れていただく意

味で、登降園管理や連絡機能の導入から始めております。今後は研究しながら機能を充実していきたいと考えています。

⑤ 山形保育園職員の方々について

Q : 山形保育園の先生方と近隣の市町村の先生方との交流や交換事業を行ってほしい。

先生方には、感謝しかありません。しかし、村採用で異動がなく長く同じ職場や環境にいると変化がないように感じる。新しい考え方や方法を取り入れることで、よりよい保育園になっていくと嬉しい。

A : 以前は市町村間で保育士の相互交流研修がありましたが、現在は行われていません。保育士にとって大変貴重な体験になると認識していますので、今後そのような機会があれば積極的に活用したいと思います。

Q : 保育園バスの運転手の年齢の公開と年齢の上限を設けてほしい。

バスを運行して頂き、とても感謝している。・運転手の中には高齢な方が多い印象を受けるが、年度初めに職員名を出す際に運転手の年齢を記載してはどうか？・人員も少なく子ども達のために運転して頂いているので申し訳なくもあるが、昨今のニュースや子どもの命を預かって頂く上で、あまり高齢な方は心配がある。

A : 現在の送迎バスの運行については、シルバー人材センターから運転手を派遣していただき運行をしておりますので、ご指摘のとおり高齢者の方に担っていただいておりますが、年齢の公表については慎重に対応したいと思います。また、運転手の確保が来年度以降は非常に厳しい状況もあります。運転手の年齢等に関係なく、運行前の健康チェックを引き続き行いながら、毎日の健康管理等を徹底し安全運行を最優先に対応して参ります。

Q : 担任の先生が平日に休む場合、保護者もわかるようにしてほしい。

急な連絡をしたい場合もあるため。子どもが不安になったり、寂しがる為。

A : 事前にお知らせすることの必要性について園内で検討します。

Q : 登園時にきちんと顔を見て受け入れをしてほしい。

朝、門が開いて登園しているのに教室の前まで行くと先生方が集まって話や打ち合わせをしている。預ける側としては、子どもが来たらしっかり顔を見て迎えてほしい。

A : 登園時に合わせて職員同士で受け入れ前の打ち合わせをする機会があるかと思いますが、ご指摘の内容は職員に周知いたします。

⑥ 山形保育園での行事や参観について

Q : 園での様子を写真や動画で見られるようにしてほしい。参観のないイベントへの写真屋さんの導入をしてほしい。 (複数意見要望あり)

コロナ禍でなかなか参観もなく普段見ることのできない園での様子や家族外の人との交流が見たい

A : 動画での配信については、卒園式や入園式を動画で保護者の方に配信した経過もありますので検討したいと思います。日々の行事の写真提供についても、コドモンシステムや他の写真提供サービスもありますので、検討したいと思います。

Q : 入園・卒園式は保護者 2 名の参加にしてほしい。

県内の感染レベルにもよると思うが、できる対策をしっかりと検討してほしい。

A : 新型コロナウイルス感染症の状況次第とはなりますが、その時の状況を見極めて判断していきたいと思います。

Q : 全園児での運動会にしてほしい。

コロナ禍になってから、学年ごとの運動会だが小学校が出来ていたのなら、保育園も感染対策を十分にしておいて実施できるのではないかな？

A : 前述の回答と同様で、新型コロナウイルス感染症の状況次第とはなりますが、その時の状況を見極めて判断していきたいと思います。

Q : 運動会の内容や変更について、保護者にしっかりと説明してほしい。 (複数意見要望あり)

今年度これまでとは違うプログラム内容で子ども達のがびのびやっている姿が見られてよかったが、運動会とうたうのであれば、もう少しクラスでの団結した姿や大きなことを学年みんなで成し遂げるといった演目、子ども達の真剣な姿が見たかった。・1つのことをみんなで作り上げていく過程で協調性や忍耐力といった団体行動ならではの大切なことも学べ、とても大切なことだと思う。・例年あったメダルやトロフィーが、いきなりなくなり子ども達からも残念がる声があった。・どうしてなくなったのか、具体的にもっと説明してほしい。メダル等のなくなった理由を回答してほしい。

A : 職員が試行錯誤しながら運動会等の企画運営を行っております。ご意見を参考にさせていただき、課題等があれば適切に見直しを行います。

Q : 行事の変更の連絡を早めにしてほしい。

今年度さくら組の運動会が急遽別日になり、通知がきたのが日時が迫ってからで困った。・年間行事に入っていない行事でも、最低 1 ヶ月前には日時を教えてください。

A : 行事の変更については、新型コロナウイルス感染者の発生等の事情により、やむを得ず中止・変更等の対応を取っております。緊急的な対応になってしまいますがご理解いただきたいと思えます。

Q : 保護者参加の行事を全学年同じ日にまとめてほしい。

兄弟関係があると、同月で別日の参観が大変。・1日で終わることができるとありがたい。

A : 前述のとおり、新型コロナウイルス感染症の状況次第とはなりますが、その時の状況を見極めて判断していきたいと思います。

Q : 参観日の内容を各クラスでの室内参観にしてほしい。

各クラスで、どんなことをしているのか教室内での子どもの様子が知りたい。

A : 前述のとおり、新型コロナウイルス感染症の状況次第とはなりますが、その時の状況を見極めて判断していきたいと思います。

⑦ 山形保育園の給食について

Q : 人気がある給食のメニューのレシピを教えてほしい。

子どもが給食が大好きなので家でも作りたい。・家庭用の分量で教えてもらえると嬉しい。・食育にも繋がるのではないかな。

A : これからも園児に喜んでいただける給食を提供して参ります。レシピのご提供について検討します。

Q : 保育園の誕生日会の時などのおやつに特別感がほしい。

月に1度の誕生日なので、もう少し特別感があると嬉しい。・数年前と比べるとがっかりしてしまう。

A : 保育園の食事は安心、安全、手作りを大事にしながら提供しています。誕生日会は園児のリクエストを聞きながら昼食、おやつの献立を決めています。特におやつはリクエストに合わせ栄養士が工夫して子ども達のイメージに合うようにレシピを作り、見た目、味ともに好評です。これからも子ども達にとって楽しみにできるおやつ作りをしていきます。

Q : 冬季は白米を保温庫に入れる等温めてほしい。 (複数意見要望あり)

冬場は、白米が冷たくなってしまふので、アルミ製の弁当箱を使用しているので温めてもらえるとありがたい。・未満児だけではなく3歳以上児も白米の提供をしてほしい。提供できないのであれば、その理由を教えてほしい。・年長児などは、自分達に炊かせてみてはどうか?

A : 今年度から温蔵庫を導入しました。現在は3歳児用として3台ありますが、4歳5歳児分として購入を検討しています。

⑧ その他 (保育園)

Q : 保護者会費を口座引き落としにしてほしい。

引き落としの方が安全。・未納の心配もない。・現金回収は先生方や役員の負担も大きい為。

A : 保護者会として集金を行っているとの認識ですので、保護者会内で調整をいただきたいです。

Q : 家庭で遊ばなくなった玩具を保育園や支援センターに寄付はできないか。

A : 玩具によって、受け入れできるか判断させていただきたいと思いますので、お問い合わせください。

【子育て支援】

⑨ 検診・健康診断について

Q : 村で実施している健康診断の際に未就園児の託児があるといいのではないか。(複数意見要望あり)

親の診察時に隣で短時間見てくれるだけでもありがたい。・託児のサポートがあることで子育て世代がもっと行きやすくなるのではないか。

A : 現在も事前にご相談をいただければ、可能な範囲でスタッフがお子さんを見ています。いただいた意見を含め、受診しやすい方法を検討します。

Q : 検診の時間を午前中にしてほしい。

A : 乳児健康診査・幼児健康診査につきましては、委託している医師の都合で検診の時間を午後とさせていただいております。いただいた意見は、今後の検討課題とさせていただきます。なお、成人の検診につきましては、集団の子宮がん検診は委託先の医師の都合で、午後のみです。午前中の受診をご希望の場合は、クーポンを使用する個別検診をご案内できます。その他のがん検診、健康スクリーニングは午前の日程も用意しています。

⑩ 病後児保育について

Q : 病児保育を行ってほしい。

病後児保育だけでなく、病児保育が気軽に利用できると助かる。

A : 病児保育を実施するには、医療機関の協力が不可欠であり、今のところ村内で協力いただける医療機関がないため、現在は松本市が運営している病児保育をご利用いただいています。

Q : 病後児保育を給食対応にしてほしい。(複数意見要望あり)

有料でいいので保育園の給食が食べられるとありがたい。・子どもに、アレルギーがあり毎日山形保育園で給食対応してもらっていることにとっても感謝しています。病後児保育は、弁当持参だがアレルギー対応

の弁当を直前になって作るのはとても大変。元々食べる予定であった、保育園の給食を同じ敷地内の病後児保育で提供できないのはなぜか？理由を教えてください。フードロスにもならずよいのではないかと？

A : 病後児保育については、体調はある程度戻っているが、集団生活や給食に配慮が必要なお子さんをお預かりしていますので、通常の給食で対応できない場合も想定されます。その日の体調に合わせた食事を保護者の方の判断により準備いただきますようお願いいたします。

⑪ コロナウイルスに関する対応について

Q : コロナウイルスでの収入減家庭や子育て世代への配慮があり助かるので来年度以降も続けてほしい。 (複数意見要望あり)

目に見える形で給食費無料、減免、水道料の減額等、とてもありがたいです。・もっと子育て世代への政策や山形村の良さをアピールしたほうが良いと思う。・給食費無料の市町村も増えているのでぜひ検討してほしい。

A : コロナ禍における各家庭への経済的な影響等や国等の施策を注視しながら対応していきます。

⑫ 子育て世代への補助や支援事業について

Q : 子育て世代がもっと気軽に村への意見要望等を出せる機会を作ってほしい。 (複数意見要望あり)

今回のようなアンケートを村主体で実施してほしい。・このようなアンケートの集約に紙を使うのは時間や手間、お金もかかるため、QR コードを使って村で行ってもらうのが良いのではないかと。

A : 貴重なご提言やご要望をいただきましてありがとうございました。今後も定期的に保護者の皆様のご意見を聞く機会を効率的な方法で行いたいと思います。

Q : 産後ケア事業を受けられる期間をもっと長くしてほしい。

実際に利用したい時期に、利用可能期間が過ぎてしまっていた。・産後 1 ヶ月が過ぎ少しずつ外出できるようになるが、母親自身の体調が優れないことも多い。育児相談に加え、母親の体調回復の為にもしっかり支援を受けたかった。

A : 産後 30 日以内で 7 日間の利用を基準として利用いただいております。ショートステイ事業や一時預かり保育事業等の他の支援制度もありますので、お困りのことがあればお気軽に保健師等にご相談ください。村ホームページに「子育てガイドブック」を掲載していますのでそちらもご確認ください。

Q : 育児に関わる経済負担への支援やサポートがほしい。 (複数意見要望あり)

子どもを育てていく上で必要なミルクやオムツ関連費の補助。・医療費の無償化をしてもらえると、とて

も助かる。・0歳から3歳までのオムツを使用している家庭に子どもの人数に関係なく一律の補助がほしい。・他市町村でも行っているように山形村からも出産祝い金を出してほしい。

A : 各自治体により様々な支援策を独自に実施していることは承知しています。村としても子育て世代の皆さんに対する支援策として、ゴミ袋の配布やおむつのプレゼント等の事業を行っておりますが、引き続き必要な支援を行っていきたいと思います。

Q : 未就園児を育てる家庭（母親）へのメンタル面でのサポートを充実させてほしい。（複数意見 要望あり）

0歳～3歳までの期間が、精神的にも1番辛い時期であった。・産後鬱になりかけたりもしたので、その時期にもっと気軽に相談出来たり利用できるサービスがあるとよかったと思う。

A : 相談体制や支援サービスを充実するよう取り組んで参ります。保健福祉課、子育て支援課に保健師が常駐しています。人と話をすることもつらい時期もあるかと思いますが、メール等でもご相談に対応いたしますので、悩みを抱え込まずお気軽にご相談ください。

Q : チャイルドシート代の補助や育児用品（チャイルドシート・ベビーカー・三輪車等）のリサイクルの制度があるといい。

年齢的な使用の育児用品は、高価なものが多いが使用期間が短いため。

A : 山形村社会福祉協議会でリサイクル品の受入を随時行っていますので、お問い合わせください。（電話 97-2102）コロナ感染症の状況にもよりますが、頒布会等の開催も検討しています。

Q : 子育て世代の住宅援助を充実させてほしい。

空き家を使えるようなシステムがあるとありがたい。空き家バンクは、実績が少なすぎるように感じる。もっと需要があるのではないか。

A : 空き家の利活用は、今後大きな行政課題になると考えており、R5から空き家対策を担う地域おこし協力隊員を採用し、村として力を入れる予定です。

Q : 子育て世代の負担軽減も踏まえ、高齢者の自立を促す活動や支援を行ってほしい。

※下記の要望については、理由や意見等アンケートに記入された内容を原文のまま記載させていただきます。子育て世代が、その親世代の介護負担を背負わなくていいようにしてほしいです。特に、生活習慣病の持病・生活管理に対する疾患の教育や介護が必要な高齢者への公的・介護サービス利用を促して頂きたいです。現代社会では、子育て世代も共働きでないと生きていけません。介護する時間・経済的マンパワーという物理的余裕など全くありません。それなのに、地域の特性もあるのでしょうか親は子どもに面倒を看てもらいたい・子どもは親を看た方がいいという文化が子育てを阻んでいます。

A : 生活習慣病対策としては、健診未受診者への働きかけや、生活習慣病の重症化予防として、対象の方へ面談や電話、文書での働きかけを行っています。若い方は特に自分は「大丈夫」

と過信しているのか、連絡を嫌がる方が多いのですが、根気よく働きかけを継続します。また、高齢者の方については、山形村では介護認定の新規申請者の傾向として、比較的軽い認定の方「要支援1又は2、要介護1」が年々多くなっています。山形村の介護予防事業は、介護予防に関する各種教室や集まりを開催しており、自動車の運転ができない方でも、福祉バスを利用して参加できるよう配慮するなど、広く参加を呼び掛けています。地域においても独自に教室等を開催しているところもあります。高齢者全般の相談については、保健福祉課でお伺いしていますが、誰に介護をお願いするかについてはご自身や家庭毎に考え方や価値観に違いがあり、同じ身体の状態でも介護力は全く違いますので、必要な時に相談が受けられる体制を維持して参ります。

【施設や店舗】

⑬子どもに関する施設や店舗等について

Q：日本文化や本物の音楽、楽器に触れることのできる機会がほしい。

例として保育園の3歳以上児クラスにはピアノがあるかもしれないが、未満児のクラスの子ども達や未就園児も、楽器に触れられる機会があると嬉しい。「ムカカベ」という一般社団法人が0歳からの音楽会を開催しているが、そのような本物の音楽や和太鼓の演奏、獅子舞等、日本文化に触れる機会を作ってほしい。）

A：保育園でも行事として実施できる場合もありますので、保護者会を通じて要望いただき諸条件を整えば対応したいと思います。

Q：天候や休日でも利用できる子どもが遊べる屋内施設がほしい。

塩尻のこども広場のような場所があるとありがたい。近隣の市にはあるが、村内にはなく、小さい子どもを連れていくには移動が大変であるため。

A：平日であれば、ふれあい児童館の一般利用が可能ですのでご利用いただければと思います。休日の対応に関しては今のところ対応できておりませんので、今後の課題とさせていただきます。

Q：村内にベビー用品・子ども用品を扱う店舗が増えるとありがたい。

特にミルク、哺乳瓶関連の物やベビーフード、ベビー子供服、子ども靴が扱われている店舗が限られている。・アイシティもあるが価格設定が日常向けではないため。

家庭状況においては、大人1人で複数の子どもを連れて買い物に行かねばならず、村内に店舗があると生活しやすい。

A：アンケートによると、山形村のみなさんは松本市を中心に近隣の市で買い物をされている状況です。企業進出のご相談があったときにお伝えするようにします。

Q : 小学生以上が遊べるような大型遊具のある公園を作ってほしい。

ちびっこ広場、なろう原公園以外に子どもがおもいきり遊べる場があるといい。

A : 遊具のある公園は村内に 11 箇所あり、そのほとんどを地域で管理しているため、新たな公園を作るには地域での合意形成が必要となります。地域から大型遊具のある公園設置の要望があれば検討していきたいと思います。

【小学校・中学校児童館】

⑭ 学校、児童館関係について

Q : 児童館を改修工事してほしい。

児童館の老朽化が進んでいるように感じ、使用しにくさもある為。

A : ふれあい児童館については、建築からかなりの年数が過ぎ、修繕が必要な箇所も散見されています。児童が安全に利用できるように計画的に改修を行っていききたいと思います。

Q : 児童館の使用料やおやつ代の補助や無償化の検討をしてほしい。

低学年のみ無償化やおやつ日割り制などでもいいので、検討してほしい。

A : 放課後児童クラブの利用料については、経済的な事情等がある世帯については一定の減免を行っております。また、近隣市町村の状況等も確認しながら適切な使用料の設定や負担軽減を行っていききたいと思います。おやつについては、保護者会からの依頼を受け提供していますので、日割り制が可能かどうか確認いたします。

Q : ICT 環境をしっかりと整えてほしい。

A : 山形小学校においては、令和 2 年度において GIGA スクール構想に対応するため、学校にネットワーク工事を行い、各教室に wi-fi を設置しました。また一人 1 台のタブレットも用意しました。情報通信技術支援員を配置し、ICT 関連の業務に携わり、先生方の補助等も積極的に行っております。授業に必要なアプリについてもそれぞれ契約し、活用しているところです。タブレットを使った授業に対応できるよう、カメラやプロジェクターなども購入し、子どもたちの活動をまとめたり授業でも利用できるよう、動画編集ソフトの内臓されたパソコンも導入しております。また、デジタル教科書も導入し、授業に活用しているところです。

Q : 公共機関の定期券の補助に電車の補助も追加してほしい。

A : 昨年行った村民アンケートにより、「公共交通の整備」が大きな課題として顕在化されました。まずは、高校生の足の確保に来年度から取り組みます。今後の検討課題とさせていただきます。

⑮ 通学路関係について

Q：通学路の整備や歩道の整備をしてほしい。（複数意見要望あり）

通学路が場所によっては、道幅が狭く歩いている子どもと車の距離が近く、危険である。・村内には用水路や側溝が多く、むき出しのところに子どもが落ちそうで心配なので対策をしてほしい。・安全に通学できるよう、道の整備・ガードレールの設置。防犯面で、ライトや街灯を設置してほしい。

A：通学路の危険箇所については、教育委員会が所管する「山形村通学路安全推進会議」において、小中学校 PTA 等から出された危険箇所の点検を行い、必要な対策・改善を行っています。防犯面での街灯設置については、対応が必要な箇所について防犯協会に対応を検討いたします。

小中学校では、常に「自分の身は自分で守る」という意識をもって交通安全に気を付けるよう指導しています。

小学校では具体的に、①歩道が狭くなっている箇所は極力車道にはみ出さないようにすること。②生垣等をよける際は自動車等が来ないことを確認すること。③しっかり手を挙げて横断する意思を伝えること。

以上3つを児童の発達段階に応じて、日常的に指導しています。

Q：通学路や場所によっては、中学生の自転車について車道走行がとても危険に感じる。（複数意見要望あり）

中学生は、きちんとルールを守り走行しているが、道幅も狭く大型トラックやスピードを出す車も多くとても危険で心配。事故が起こってからでは遅い。

A：前述の回答のとおりですが、通学路の危険箇所については、「山形村通学路安全推進会議」において、点検を行い、必要な対策・改善を今後も行っていきます。尚、横出ヶ崎交差点から上大池集落に向かう村道1級4号線につきましては、交差点から約480mの区間について、令和4年度から6年度にかけて歩道整備を行う予定です。

中学校では、正しい自転車の乗り方について指導し、交通安全の確認をしています。また学校職員による巡回指導も行っています。

Q：小中学校のスクールバスの運行を検討してほしい。

A：小学校の設置の考え方としては、通学距離4Km以内を設置の基本としており、山形小学校においては4Km以内の通学範囲に入っているためスクールバスを運行することは考えていません。

中学校においても通学距離6キロ以内を設置の基本としているため、同様の考え方でありませ

Q：道幅が広がる役場近くに駐輪場を設置してほしい。

A：現在、役場敷地内の西側駐車場に、一般の方が誰でもでき、自転車 20 台程度が収容できる駐輪場があります。

※下記の内容については、アンケートに記入されたものを原文のまま記載させていただきます。

Q：以前の聴き取りの際にも書かせて頂いた内容です。アイシティ近辺から小学校、または中学校の通学路に関してです。山形村に移住して 6 年程ですが主要道路が限られており、通勤車が多く行き交っています。加えて大型のトラックも多く見かけますが、中央線をはみ出しスピードも相当出しています。登下校時間を見ると、その横を小学生がガードレールのない歩道を歩いています。来年には、我が子も小学生になりますが、この道を通り登校すると考えると心配でなりません。通学中の子ども達の列に車が追突する事故もニュースで多く報道されていたはずですが。また最近では実際にアイシティ近くで車が衝突する単独事故がありました。たまたまそこには、ガードレールがりましたが、もしそこに無かったら、もしそこに子どもが歩いていたらと考えて下さい。数年前も同様の調査がありガードレールをつける、もしくは通学路を車が通らずに済む迂回路などを要望しました。いまだに変化がありません。大きな工事になるため主要道路が故に簡単にできることではないこと、予算や優先順位があることも重々承知しています。ですが、決して無視できない問題だと思えます。今計画中なのかもしれませんが、前向きな意向があるのかどうか、意思表示をしていただきたいです。また今後この案に関して不可能という答えであれば、それも含め回答してほしいです。そして、この問題に向き合う意思がないのであれば、この調査は今後必要ありません。何度か村へのアンケートにも提出していますが、広報等でも返答は目にしたことがありません。是非、何かしらのお答えをお聞きしたいです。

A：ご指摘のありました、アイシティ近辺からの歩道の安全対策についてですが、ガードレールの設置等につきましては、2 年程前から県道を管理する松本建設事務所へ要望を上げてきた経緯があります。松本建設事務所の所見としては、技術的な部分等でガードレールの設置は難しいとの判断で、カーブ部分の縁石の一部に、ドライバーへの注意を促すポール等の設置をしていただいております。今後の道路整備による安全対策の考え方としましては、県道の記念碑交差点～山形消防署～松本市境までの間について、令和 3 年度から松本建設事務所が国の補助事業を取り入れ、歩道整備に取り組む事となりました。整備の方針としましては、現状で歩道の無い区間である山形消防署～松本市境の間の整備をまず進めて行き、記念碑交差点～山形消防署の間についても引続き行っていく予定と伺っております。村としても、事業が今後円滑に進むよう、必要な協力をしていきたいと思えます。

【その他】

⑩ごみについて

Q：燃えるゴミの袋の値段を下げるか、補助してほしい。(複数意見要望あり)

燃えるゴミの袋が高いように感じる。・オムツなどかさばるので消費が激しい為。

A：可燃ごみは、松塩地区広域施設組合が運営する松本クリーンセンターで焼却していますが、大変な額の経費がかかっています。ごみ袋代金の一部は、こうしたごみ処理経費の貴重な財源にもなっておりまして、ごみの排出量が減らない現状では値下げや補助は非常に難しく、ご理解をいただきたいと思います。

Q：燃えるゴミの袋をワンサイズ大きいものにできないか？

子育て世代は特にゴミの量も多い為。

A：可燃ごみの袋を大きくすると、収集車両の性能上の問題や、袋の厚みが必要になり価格の値上げが必要になること等、何点か問題点が出てきます。また、組合に加入している他市村の袋のサイズも考慮しての現在のサイズになっておりますので、今のところ変更の予定はございません。

Q：プラスチックの収集日を増やしてほしい。

A：現在、13種類ごみ収集を行っております。収集にかかる経費やそれぞれのごみ収集量を考慮しつつ収集日程を組んでおりますので、誠に恐縮ですが収集日を増やすことはできません。なお、令和5年4月からプラスチック類は、従来の「容器包装プラ」に加えて、これまで可燃ごみとして処分していた「製品プラ」をいっしょにして「資源プラスチック」として回収を始めます。収集日は現在と同じ、毎月第2、第4火曜日です。また、縦横の大きさが30センチを超える「大型資源プラ」は、ステーション回収とは別に2か月に1回、役場の駐車場で一斉回収を行います。ごみ減量と資源リサイクルにご理解とご協力をお願いいたします。